

令和3年度 公共事業再評価調書

1. 事業説明シート

(区分) **国補**・ 県単

事業名	急傾斜地崩壊対策事業 [急傾斜地崩壊対策事業 (国補)]		事業箇所	韮崎市水神一丁目～二丁目、富士見ヶ丘一丁目～二丁目、本町一丁目、中央町	地区名	七里岩	事業主体	山梨県
計画期間	当初計画	現計画	変更計画		(2) 評価項目 [事業を巡る社会経済情勢等の変化] (今回の再評価で変更がある場合、変更事項を説明するために必要な内容)			
	H18年度～H26年度	H18年度～R8年度	～					
総事業費	900 百万円	1,424 百万円	— 百万円		①地域・住民の意向状況 ・過去にアパートが全壊するなどの被害が発生しており、住民の防災意識が高く、早期対策の要望は強まっている。  ②産業・経済情勢 なし  ③国等の方針 なし  ④上位計画・関連事業計画等 「山梨県総合計画」(令和元年12月) 「山梨県強靱化計画」(令和2年3月) 「山梨県社会資本整備重点計画-第四次-」(令和3年3月予定)  ⑤自然環境条件等 近年、局地的な集中豪雨が頻発しており、土砂災害の危険性が一層高まっている。  ⑥その他			
(1) 事業の概要								
①事業目的及び効果								
本地区は昭和45年～54年に急傾斜地崩壊危険区域に指定されており、斜面の傾斜度は60～90度、斜面の高さは30～60mで斜面直下には人家が連担している。平成14年には県道に土砂が流出し一時通行止め、H16年にも県道に土砂が流出しアパートも被災している。このような状況を受け、がけ崩れ対策として急傾斜地崩壊防止施設の整備を行うものである。  <input type="checkbox"/> 主要目標 ○崖崩れ被害の防止 災害実績：有、保全人戸数：128戸>5戸以上※ ※評価基準値 重要公共施設：無  <input type="checkbox"/> 副次目標 — <input type="checkbox"/> 副次効果 被災時の被害波及の防止								
②事業概要								
計画延長 L=850m 現場吹付法枠工 A=11,000m2								
③全体計画								
		令和2年度まで	令和3年度 (評価実施年度)	令和4年度以降				
現計画	工事内容	測量・地質調査・設計 用地調査・用地補償 現場吹付法枠工事 落石防護柵工事	測量・設計 用地調査・用地補償 現場吹付法枠工事	用地調査・用地補償 現場吹付法枠工事				
	事業費	1,124 百万円	50 百万円	250 百万円				
実績	工事内容	測量・地質調査・設計 用地補償 現場吹付法枠工事 落石防護柵工事	測量・設計 用地調査・用地補償 現場吹付法枠工事	用地調査・用地補償 現場吹付法枠工事				
	事業費	1,224 百万円	20 百万円	180 百万円				
※現計画欄は計画値。今回計画変更はないため、現計画と実績の比較とし、前年度までは実績値、当年度以降は計画値を記入。								
④特記事項 (関連事業概要等)								
なし								
⑤これまでの評価状況 (平成28年度再評価)								
この事業の完成により、市街地を形成する人家や事業所の崖崩れに対する安全性が大きく向上することなどから、見直し案により事業を継続することが妥当である。								
(3) 評価項目 [評価時点の費用対効果分析]								
		項目	着手時点	再評価時点	現時点			
		総事業費	900 百万円	1,424 百万円	1,424 百万円			
		工期	H18～H26	H18～R8	H18～R8			
		評価基準年	H17	H28	R2			
経済 効 率 性	費用	費用	773 百万円	1,580 百万円	1,694 百万円			
		建設費	773 百万円	1,580 百万円	1,694 百万円			
		維持管理費	百万円	百万円	百万円			
		その他( )	百万円	百万円	百万円			
	便益	便益	6,160 百万円	6,357 百万円	15,884 百万円			
		一般資産被害	3,586 百万円	4,818 百万円	3,509 百万円			
		公共土木施設等被害	1,365 百万円	396 百万円	354 百万円			
		人身被害	1,209 百万円	1,144 百万円	904 百万円			
		その他※	百万円	百万円	11,117 百万円			
		B/C	7.97	4.02	9.38			
費用便益分析マニュアルにより算出 採択基準値1.0以上								
※その他は間接被害軽減効果								
※算出にあたっては、最新の条件により算出 (国の費用便益分析マニュアルR3.1改定)								

## 2. 評価シート

<p><b>(4) 評価項目 [これまでの計画変更等の概要]</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>優先度の高いエリアについて詳細な調査設計を実施し、一部工法の変更を行った。</li> <li>計画区間のほぼ全域で対策斜面の前面に人家等が連担しており、作業ヤードに限りがあったことから、施工が非効率であった。このため進捗に遅れが生じ、工法変更、計画期間の延期をした。(平成28年度)</li> </ul>	<p><b>④事業期間の変更理由及び進捗予定</b> 予定どおり令和8年度完了見込みである。</p> <p><b>⑤今後の事業執行における留意点</b> なし。</p>												
<p><b>(5) 評価項目 [事業進捗状況及び見込み]</b></p> <p><b>①進捗率</b> 令和3年度進捗率(現計画)82%→(実績)88% 詳細は別表のとおり。</p> <p><b>②進捗率実績が計画と相違している理由</b> 計画どおり進捗。</p>													
<p><b>③総事業費の変更内容</b></p> <table border="1" data-bbox="174 885 1124 1177"> <thead> <tr> <th>変更工種等</th> <th>事業費増減</th> <th>変更理由</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>なし</td> <td>百万円 増減</td> <td></td> </tr> <tr> <td>なし</td> <td>百万円 増減</td> <td></td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	変更工種等	事業費増減	変更理由	なし	百万円 増減		なし	百万円 増減		合計			<p><b>(6) 評価項目 [環境負荷等への配慮]</b> なし。</p> <p><b>(7) 評価項目 [コスト削減の可能性]</b> なし。</p> <p><b>(8) 評価項目 [代替案立案の可能性]</b> なし。</p> <p><b>(9) 所管部の今後の方針</b> <b>継続</b> 見直し継続・その他( ) (理由) 計画どおり進捗していることから、事業を継続し、令和8年度の完成を目指す。</p>
変更工種等	事業費増減	変更理由											
なし	百万円 増減												
なし	百万円 増減												
合計													

### ○別表-進捗率(事業費ベース)

算出方法：【上段】現計画の計画事業費／総事業費×100 【中段】現計画の実績事業費／総事業費×100 【下段】現計画の予定 計画事業費／総事業費×100 単位：%

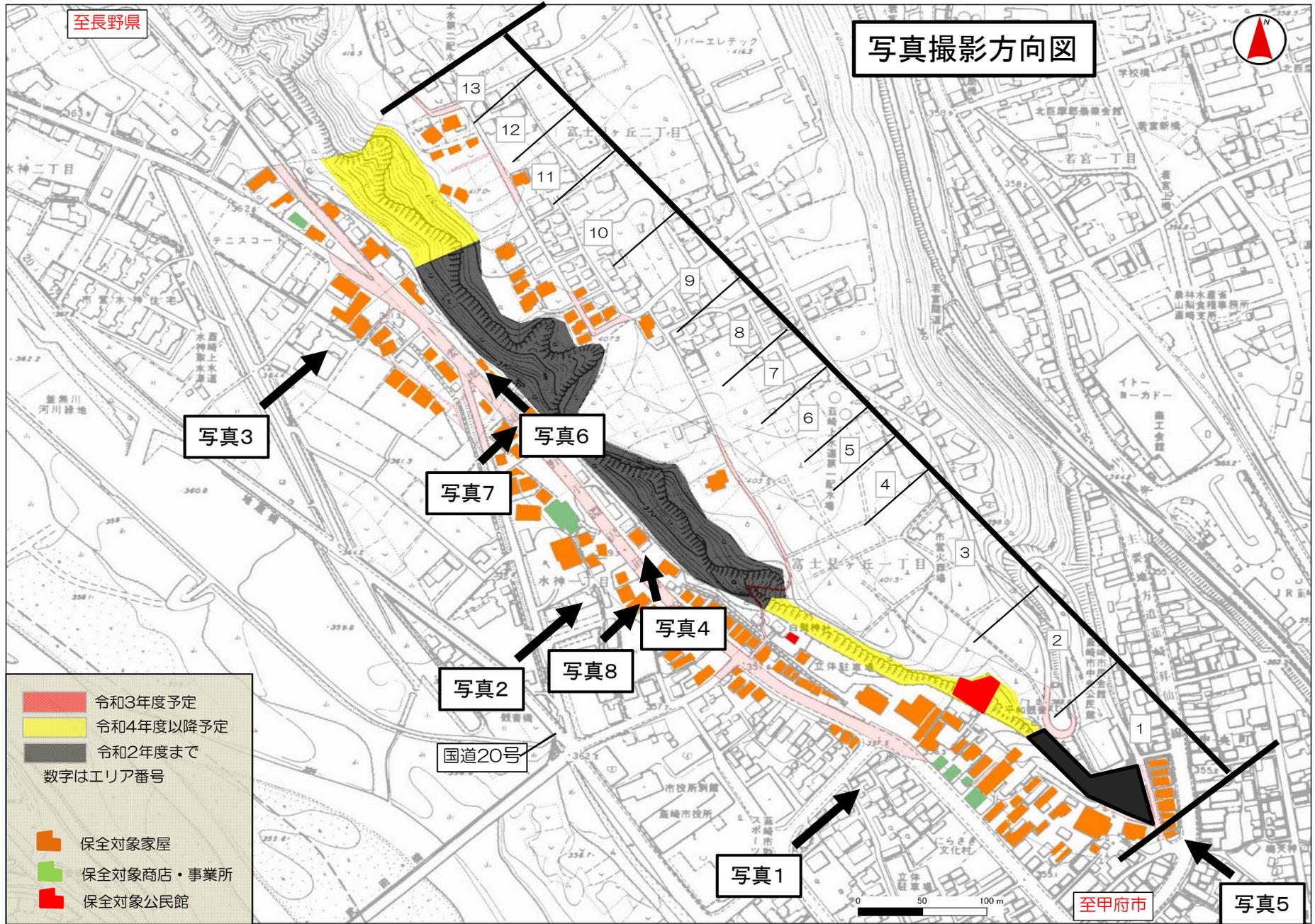
	年度	*H28	H29	H30	R1	R2	*R3	R4	R5	R6	R7	R8
現	計画	65%	68%	72%	75%	79%	82%	86%	89%	93%	96%	100%
	実績	65%	68%	71%	79%	86%	88%					
	予定						88%	90%	93%	95%	98%	100%

\*事業着手年度又は評価年度

\*R3年度の実績は見込み



### 3. 添付資料シート (2)



### 3. 添付資料シート (3)



写真4

崩壊状況：エリア7 (H16年10月20日)



写真5

崩壊状況：エリア1 (S47年5月20日)



写真6

対策状況：エリア4～6  
植生マット工 (緑化)



写真7

対策状況：エリア9  
切土補強土工, 吹付工,  
長繊維補強土工 (緑化)



写真8

対策状況：エリア4～6  
崩壊土砂防護柵

#### 4.年度別事業費内訳表（変更計画の内容）

年度	変更事業費 (千円)	事業概要	進捗率 (%)
H18	136,000	測量・調査・設計吹付法砕工A=607m <sup>2</sup> 落石防護柵工L=65m	10%
H19	95,000	測量・調査・設計吹付法砕工A=226m <sup>2</sup> 落石防護柵工L=57m	16%
H20	83,000	調査切土工V=4440m <sup>3</sup> 落石防止網工A=1240m <sup>2</sup>	22%
H21	88,000	測量・調査・設計切土工V=3000m <sup>3</sup>	28%
H22	45,000	切土工V=1500m <sup>3</sup>	31%
H23	108,000	切土工V=7200m <sup>3</sup>	39%
H24	71,000	切土工V=960m <sup>3</sup> 落石防止網工A=1800m <sup>2</sup>	44%
H25	49,000	崩壊土砂防護柵工L=24m	48%
H26	158,000	調査・設計崩壊土砂防護柵工L=108m	59%
H27	41,000	崩壊土砂防護柵工L=42m	62%
H28	45,000	吹付工A=1200m <sup>2</sup> 鉄筋挿入工N=270本	65%
H29	50,000	測量・調査・設計吹付工A=1000m <sup>2</sup> 鉄筋挿入工N=210本	68%
H30	40,000	吹付工A=600m <sup>2</sup> 鉄筋挿入工N=150本	71%
R1	115,000	切土補強土工500m <sup>2</sup>	79%
R2	100,000	測量・調査・設計切土補強土工500m <sup>2</sup>	86%
R3	20,000	切土補強土工300m <sup>2</sup>	88%
R4	36,000	切土補強土工500m <sup>2</sup>	90%
R5	36,000	切土補強土工500m <sup>2</sup>	93%
R6	36,000	覆式落石防護網工500m <sup>2</sup> グラウンドアンカー工（受圧板工）30基	95%
R7	36,000	覆式落石防護網工400m <sup>2</sup> グラウンドアンカー工（受圧板工）23基	98%
R8	36,000	落石防護柵工L=10m 排土工3000m <sup>3</sup>	100%
合計	1,424,000		